

## 富山県立石動高等学校 シラバス

科目名	書道 I	単位数	2	学科	商業科	学年	2
使用教科書	38 光村 書 I 308		副教材等				
科目の内容と到達目標	書の幅広い活動を通して、感性を高め、書写能力の向上を図り、自己を主体的に表現するための書道の基礎的な能力を伸ばす。また書の美しさを感じると鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。						
学 習 計 画 等							
学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い ・ 目 標			備考(学習活動の特記事項・副教材使用等)	
1	4	1. 書の美を求めて ・書写と書道の違い ・文房四宝 2. 楷書の学習 ・楷書学習の基本 ・孔子廟堂碑・九成宮醴泉銘 ・雁塔聖教序・顔氏家廟碑 ・牛欄像造記 ・楷書の倣書	・書の分野や用具・用材について理解し、表現のための学習方法を把握する。 ・毛筆の基本的な用筆法を学ぶ。 ・古くから名筆とされてきた作品を鑑賞し、表現の多様性を理解し、それぞれの特徴をとらえて書くことができるように学ぶ。 ・これまで学んだ書風を参考にして創作する。				
	5						
	6						
	7						
2	9	3. 篆刻の学習 ・落款と雅印について ・選文、検字、印稿作り ・布字、運刀 ・押印、補刀、仕上げ 4. 行書の学習 ・蘭亭序 ・風信帖 ・争坐位文稿 5. 仮名の学習 ・仮名の成立 ・仮名の基本用筆 ・平仮名の単体、 連続、変体仮名、他	・篆刻が芸術作品として鑑賞の対象となる書の表現のひとつであることを理解する。 ・姓名印の制作を通して篆刻の手順と技法を理解する ・篆刻の刻法を学ぶ。 ・篆刻における押印法を身に付け、落款法を知る。 ・中国や日本の行書の古典を臨書や鑑賞を通して、それらの用筆、運筆、字形のとり方を学び、書風の違いを理解する。 ・真蹟と拓本とを比較し、違いについて理解を深める。 ・行書の用筆法に慣れ、変化と調和のバランスを学ぶ ・創作参考作品を鑑賞し、それぞれの表現について理解する。 ・仮名の歴史や仮名の種類などについて理解する。 ・小筆の扱い方、用筆などを理解する。 ・変体仮名に関心を持ち、連綿による流動美を理解する。 ・名筆を臨書することによって日本の伝統的な書の美を感じることができる。				
	10						
	11						
	12						
3	1	・仮名の創作 6. 漢字仮名交じりの書の学習 ・書きたい思いを言葉に ・古典に基づく表現 ・紙面構成の工夫 ・創作	・名筆を臨書することによって日本の伝統的な書の美を感じることができる。 ・これまでの仮名の学習をもとに、創作の手順に従って作品作りを試みる。 ・創作参考作品を鑑賞し、それぞれの表現について理解する。 ・漢字と仮名の調和の重要性を確認し、そのための工夫について考えることができる。 ・明確な制作意図を持って、主体的・意欲的に創作活動を行う。				
	2						
	3						
提出物・課題等 ・半紙作品、プリント等							
評価方法 (内容) 漢字・仮名の書の古典の美に触れ、特徴をとらえて書くことができたか。また創作においてその特徴を取り入れ、自分のものにできたか。漢字仮名交じりの書の多様な美しさに触れ、選んだ題材を自分のものとして表現できたか。 (評価) 授業への取り組み方(実技・態度)、提出作品を総合的に評価する。							